令和７年度

「運営に関する計画・自己評価（最終評価）」及び「学校関係者評価報告書」

大阪市立桃園幼稚園

令和８年３月

（様式１）

大阪市立桃園幼稚園　令和７年度　運営に関する計画・自己評価（総括シート）

1　学校運営の中期目標

現状と課題

○本園の特色の一つである広い園庭で、子どもたちは日常的に体を動かして活動している。一人一人がゆとりをもって遊ぶことができる反面、人との距離の取り方や、狭い場所での身のこなし方などで危ない場面もあり、危機意識が少し低い傾向にある。また、感染症対策として家で過ごす機会が多かったことから、体を動かすことや姿勢の保持が持続できないといった体幹の弱さが感じられる。日々の遊びの中で友達と楽しく体を動かす機会を意図的につくり、様々な動きを通して体力や運動能力の基礎、安全への意識などが身に付くように働きかけていくことが課題である。

○健康な生活についての保健指導や保護者啓発を継続したことで、家庭でも食育や基本的な生活習慣を大切にしようとする姿勢が伺われた。今年度も引き続き、自分の大切な体や命を守るため、健康な生活を子どもも保護者も意識できるような取組を工夫していくことが必要である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を９０％以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。

○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を７０％以上にする。

2　中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

学校園の年度目標

○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を９０％以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

学校園の年度目標

○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。

○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。

【学びを支える教育環境の充実】

学校園の年度目標

○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を７０％以上にする。

3　本年度の自己評価結果の総括

保護者アンケートの結果は、各項目ともに高い評価となり目標以上に達成することができた。

地域や諸団体、近隣小中学校や保育園と連携を取りながら、新たな交流内容や交流のもち方を考えて取り組み、交流を通して幼児教育の充実を図ることができた。

幼稚園教育の発信や、遊びの中での幼児の学びや育ちを保護者と共有する手段に、ホームページを大いに活用しようと目標にあげ、内容を充実させた。TOP 画面をより見やすく、多くの情報を発信できるようにし、教員全員がホームページに関する知識を深め、それぞれの視点で発信したことで、園内外に向けて教育内容の発信を細やかにすることに繋がり幼稚園の教育内容が周知され、保護者の幼稚園への安心感へとつながっていると感じる。

アンケート結果や教育成果から、中期目標が達成でき、今年度の項目や重点の置き方が、園や幼児の実態に即し、適切であったと評価できる。引き続き園運営に対して教職員の共通理解を深め、一人一人の幼児がさらに充実した園生活を送ることができるよう、教育内容を工夫していきたい。

（様式２）

大阪市立桃園幼稚園　令和７年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった　　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標１　安全・安心な教育の推進】 学校の年度目標 ○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を９０％以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向１、安全・安心な教育環境の実現】 安全に過ごそうとする気持ちを育てる。 指標　・園内の環境を見直し、子どもと一緒に ICT 機器を活用した安全教育を学期に１回以上実施する。 ・安全に関する取り組みについて、写真を使ったドキュメンテーションを作成し発信することで、家庭との連携を図る。	B

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

○令和７年度３学期の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」という回答の割合は１００％であった。

○中期目標では、幼児が安心安全に過ごせるようにと考えた取り組みが、アンケート結果からも読み取れるように高い評価となり、中期目標が達成できた。

・子どもたちが園内でも安全に楽しく遊ぶことができるように、教職員で園内環境を見直し改善を行った。

改善場所	内容	・安全への配慮　＊改善後の環境
子どもパーク	階段下の空間を子どもが遊べるように整理し、ままごとやブロックなど自由に遊べるようにした	・出入口に緩衝材をつける ・電気スタンドを設置した。照明器具を取り付ける（申請中） ・スポットクーラーや扇風機の設置
保健室前	保健室前に、棚やベンチ、絵本、ホワイトボードなどを設置し子どもが自由にまた落ち着いた空間として安心して遊べる場を整えた	＊保健室前を整理することで、保健室の出入り口が広がったり、明るくなったりして、子どもたちが過ごしやすい環境になった ・ホットカーペットの設置
絵本コーナー	絵本の整理や棚の配置などを見直し、子どもたちが過ごしやすい環境を整えた	・クーラーやカーテンの設置 ・ホットカーペットの設置 ＊暖房器具の前に柵を設置し、安全に遊べるようにした
手洗い場横の棚	手洗い場横の棚を整理し、棚の上の物品の配置を変えた	＊棚の上に物がなくなり、落下の危険がなく安全に手洗いができるようになった

・園内環境を見直し改善を行ったことで様々な場で安全に遊びを楽しむ姿が多くなった。また、保育室以外での遊びが広がると共に、自然に異年齢でのかかわりが増え一緒に遊ぶ姿が多くなった。階段下の子どもパークは４・５歳児にとってはワクワクする場、未就園児にとっては安心して遊びを楽しめる場となり、それぞれの遊びを楽しむ姿が多く見られた。
・子どもたちとどうしたら安全に遊ぶことができるようになるか考え、「きぐみチャンネル」という動画を撮り４歳児に伝えた。また、３学期には５歳児が園内外でより安全に過ごせるようにクラスで話し合い、１月の今年度最後の園外保育前や、２月の修了式前に「きぐみチャンネル」を作成した。動画視聴後は安全に遊ぶことを意識するようになり、廊下を走る姿が少なくなったり、走っている友達を見ると子ども同士で声をかけたりする姿が見られるようになった。５歳児は年長児としての自覚をもって行動したり、４歳児は年長児を見て憧れの気持ちを持ったり、進級への期待を膨らませたりする機会となった。
・２学期の終業式の時には保護者と一緒に防犯に関する DVD を観て、幼稚園全体で防犯に対する知識を共有した。また、DVD 視聴後に教師が防犯に関する劇をし、更に防犯に対する意識が高まるようにした。

	ICT 機器を使った安全教育の内容
１学期	園内の危険な場所、安全な遊び方
２学期	防犯に関する DVD の視聴（全園児・保護者）
３学期	・園外保育の約束（道路の歩き方、電車の乗り方、階段の登り降りの仕方） ・園庭の安全な遊び方、遊具の使い方など

・１年間を通して取り組んだことや子どもの成長についてドキュメンテーションを作成し保護者に発信し家庭との連携を図った。

次年度への改善点

・ICT 機器を活用する安全教育と、個々に声をかけたり、また見えるように掲示したりする安全教育を併用しながら、子ども自身が安全意識をもって行動できるようにする。
・次年度も継続して園内の環境を見直し、子どもたちが安全に楽しく遊べる場を整える。

（様式２）

大阪市立桃園幼稚園　令和７年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準　A：目標を上回って達成した　　B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった　　D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標２　未来を切り拓く学力・体力の向上】 学校の年度目標 ○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。 ○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向５、健やかな体の育成】 幼児が興味や関心がもてるような遊びの中で、自ら体を動かして遊ぶ楽しさを感じられるようにする。	A
指標　・幼児が体を動かすことを楽しめるように、園内の環境や地域を活用した取り組みを学期に２回以上実施する。 ・保育参加では、保護者と共に幼児の興味や関心のある遊びを一緒に行い、楽しさを共有できるような内容を考え、年４回実施する。 ・園内研究保育を年５回以上行い、教職員の資質向上につなげる。	
取組内容②【基本的な方向５、健やかな体の育成】 自分や相手の心と体を大切にしようとする心を育む。	B
指標　・自分や相手の心と体の大切さを知らせる指導の年間計画を立て実施する。 ・視覚教材や視覚物を用いて、自分や相手の心と体を大切にすることについて指導した内容について、学期に１回保護者啓発を行う。	

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

○令和７年度３学期の保護者アンケートにおける「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」という回答の割合は９７％であった。
○令和７年度３学期の保護者アンケートにおける「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」という回答の割合は９７％であった。
○中期目標では、各項目のアンケート結果からも読み取れるように高い評価となり、中期目標が達成できた。

取組内容①

・子どもたちの興味や関心を捉え、楽しく体を動かせる体操を取り入れ、日々の保育に生かした。

【主な体操】サクランボのマンボ、バニージャンプ、ぺっぺけぺーのピコピッピ、カッパ体操、雨の日はあめふり、筋肉もりもり体操、ガタンゴトン電車、かみなりビリビリ、かみなりどんがやってきた、この地球の続きを（２０２５盆踊り）、月面着陸計画、キラキラ☆Around　The　World、クリスマスの人気者、はじまる、スキーボードそりすべり、ツイてる！ツイてる！、うちゅうじんにあえたら、われわれは宇宙人だ

・４歳児はピアノに合わせて体を動かす遊びやかけっこなどを１学期から取り組んできた。雨が降っている様子を見て遊んだ経験から、雨降りの遊びをしたり、カミナリさんをイメージして、ダンスをしたり、様々な遊具や道具を使って、体を動かしたりしてきた。ボールを投げて遊ぶゲーム遊びも取り入れ、運動会でも存分に体を動かして遊んだ。
・５歳児は竹馬、一輪車、縄、鉄棒など、道具を使って挑戦する遊びに取り組んできた。園外保育で科学館へ行ったイメージを膨らませ、宇宙や星空の世界を体で表現したり、ダンスを考えたりした。挑戦する遊びも宇宙に行くためにパワーをためる遊びと考えて継続し、運動会にも取り入れた。パラバルーンの遊びも様々な動きを考え、４歳児も一緒に遊べるようにしてみんなで楽しんだ。
・生活発表会の中にも物語やイメージにあったダンスを取り入れた。４歳児は運動量があるダンスにも楽しく取り組み、５歳児はダンスの振り付けも考えて劇遊びに取り入れた。
・運動遊具を見直しホッピングを導入したり、新しい一輪車を加えたりしたことで、挑戦したい意欲や楽しく運動する姿につながった。
・寒い日はマラソンごっこで体を温めてから好きな遊びを楽しんだ。
・５歳児がドッチボールを始めたことで、４歳児も加わり、みんなで遊び方を考えたり、ボールに親しんで、投げたり受けたりすることを楽しんだ。
・戸外遊びの時間を十分に確保してきたことで、様々な遊びに取り組み、１学期から楽しく体を動かす姿が見られた。

【保育参加】

月	内容
５月	砂遊び・泥遊び・色水遊び・水鉄砲など
７月	水鉄砲・ウォータースライダー・ボール転がし・スーパーボールすくいなど
１１月	歌・手遊び・製作
３月	ドッチボール・転がしドッチボール・コマ回し(予定)

・５月の保育参加では、泥遊びや色水遊び、水鉄砲など、子どもと保護者が一緒に楽しむ姿が見られた。
・７月はウォーターパークで存分に水を使ったり、ウォータースライダーを子どもたちと体験したりし、その時期ならではの遊びを一緒に体験してもらった。

【園内研究保育】

月	担当	活動	内容
６月	松原　珠代(４歳児)	・季節の遊び (表現・体を動かす)	雨降り遊び
１０月	山領　浩美(５歳児)	・体を動かす遊び	チーム対抗しっぽ取り (遊び方を考える)
１１月	山福　聡子(支援担当)	・つくって遊ぶ活動の支援の方法	技法
１２月	江谷　公美(時短勤務)	・体を動かす遊び	縄を使った遊び
２月	木田　彩乃(養護教諭)	・自他を大切にする指導	絵本の読み聞かせ、自他の長所を考えて発言

・６月４歳児の園内研は、雨が降っている様子を見た経験から、保育室で飼っているカタツムリの動きや雨粒、カミナリなど、幼児が興味をもっている様子を捉え、遊びに生かした。視覚教材や手づくりボールなどを使って、イメージをもって楽しく遊んだ。
・１０月５歳児の園内研は、運動会でルールのある遊びを考えて楽しんだ経験から、チーム対抗でルールを考えて、体を動かして遊ぶことができた。
・１２月４歳児の園内研は、縄を使って様々な遊びを取り入れ、無理なく楽しめて縄に慣れることができた。好きな遊びの時にも縄を使って遊ぶ姿が見られるようになった。
・２月の園内研は、４・５歳児を対象に、絵本を読み聞かせ、自他の命の大切さや自他の個

性や長所に気付くことができるよう話をした。自分の長所がどこだと思うか問いかけると、手を挙げて積極的に発言する姿や、自分の長所に気付けないでいる友達の長所を知らせてくれる姿も見られた。また、「先生のも聞いてみたい」と言う幼児もおり、教師の長所を幼児が自ら考えて発言する姿も見られた。自分だけでなく他者の長所にも目を向け、互いを認め合う姿につながった。

取組内容②

・自分の体を大切にするための指導の年間計画を立て、実施した。（実施内容と評価については別紙１に記載）
・プライベートパーツに関する指導の実施後は、プライベートパーツを人に見られないように意識して着替える姿が見られるようになった。
・着替え時の環境配慮や、トイレの指導など教員の意識向上にもつながっている。
・保健だよりを活用し、保護者に幼児への保健指導の内容を知らせている。指導時の幼児の様子が分かる写真や使用した教材を載せ、視覚的にも分かりやすく知らせるようにした。
・作品展にて、自他の体を大切にする指導の内容や使用した教材を掲示したり、指導内容についてのクイズに回答するコーナーを設置したりし、幼児も保護者も一緒に見ることができるようにした。特に保護者と一緒にふわふわ言葉についてカードに書いて貼るブースでは、「すごいね」「ありがとう」「だいすきだよ」といった相手を大切にする言葉が多く書いてあり、家庭への啓発にもつながった。
・２学期の保護者会にて「生命（いのち）の安全教育」について PPT を用いて知らせる機会をもった。
・３学期にも、保健だよりや HP を通して、保護者啓発を行う予定である。

次年度への改善点

・今後も継続して体を使って楽しめるように幼児の興味にあった遊びを取り入れ、環境を整えていく。
・一輪車や竹馬、一本歯下駄、ボールなど、運動遊具が安全に使えるか点検を継続する。
・口頭や紙媒体だけではなく、ICT や HP を活用して保護者への発信の工夫に努めたい。

（様式２）

大阪市立桃園幼稚園　令和７年度　運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準	A：目標を上回って達成した	B：目標どおりに達成した
	C：取り組んだが目標を達成できなかった	D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
【最重要目標３　学びを支える教育環境の充実】 学校の年度目標 ○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」と回答する割合を７０％以上にする。	A

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【基本的な方向９、家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 幼児の活動や育ちを知らせ、家庭や地域との連携を図りながら子どもを見守る。	A
指標　・全教員がホームページに関わる知識を深め、各自月３回以上教育内容や未就園児活動の内容を発信する。 ・幼児の様子や育ちを、学期に２回以上写真を使ったドキュメンテーションを作成し保護者に発信する。 ・今年度の現状に合わせ内容を工夫しながら、地域、近隣小・中学校、諸団体と連携し、学期に３回以上交流や連携を行う。	

中期目標及び年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

○令和７年度３学期の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」「大体そう思う」という回答の割合は１００％であった。
○中期目標では、アンケート結果からも読み取れるように高い評価となり、中期目標が達成できた。
・教員間で日々の日記のあげ方について学ぶことができた。教職員がそれぞれの視点で、月に３回幼児の生活や遊びをホームページにあげるようにし概ね目標を達成することができたが、行事が続くと、頻度が開くこともあり、教員間で、カバーするなどの改善が必要だと感じる。
・ホームページでは、より詳しく保育内容について、教師の願いや幼児の育ちを文章にして発信できることで、文章での伝え方や内容の振り返りなど、教員の発信の力にも繋がっていると感じる。
・ホームページの内容を充実させ、トップページに「入園希望者向け」「園児の様子」「学校園・地域連携」「園長日記（たんぽぽのねっこ）」などのアイコンを利用し、より見やすく多くの情報を発信できるようにした。入園希望者の多数がホームページを見て問合せをしていることや、第２回保護者アンケートでもホームページ利用の頻度が１学期より大きく上昇している。

【ホームページ更新回数・内容】

月	更新回数	内　　容
４月	９６回	入園式、４月の遊び、収穫（サクランボ）、給食の様子　等
５月	８４回	収穫、５月の遊び、子どもの日の集い、未就園児活動　等
６月	６９回	ウォーターパーク、収穫（ビワ）、絵の具遊び　等
７月	３３回	プール遊び、水遊び、七夕の集い、保育参加　等
８・９月	６９回	終業式、始業式、夏の遊び、書道の日、体を動かす遊び　等
１０月	２９回	園外保育（動物園）体を動かす遊び、運動会、幼保交流等
１１月	３９回	作って遊ぶ活動、わいわいまつり、園外保育（大阪城）収穫（芋）　等
１２月	２４回	作品展、凧あげ、お楽しみ会、冬の遊び、終業式　等
１月	３３回	始業式、園外保育（子ども本の森中之島）避難訓練、楽器遊び、表現遊び　等
２月	２４回	生活発表会の取り組み、マリンバコンサート、雪遊び　等

【ドキュメンテーション内容】

５歳児		４歳児	
１学期	○年長児になって ○ウォーターパークで遊ぼう	１学期	○はじめての幼稚園 ○水遊びって楽しいな
２学期	○みんなで力を合わせるぞ ○つくるって楽しいな	２学期	○体を動かすって楽しいな ○つくって遊ぼう
３学期	○劇遊びについて	３学期	○イメージを共有して遊ぼう

・担任が幼児の生活や育ちを捉え、ドキュメンテーションの作成を行い、その際に、「つけたい力」「経験させたいこと」「教師の教育的意図をもった働きかけ」を記載し、教育内容の発信を行った。また、教師自身も保育の振り返りとなり資質向上につながった。また、保護者からも写真付きで、これまでの遊びや、取り組みがよく分かると、好評で楽しみにしている声が聞かれた。

【交流内容】

・地域　…収穫物持参・商店街地域散歩・桃園会館とのコラボ（コンサート、雪遊び）・桃園会館での歌披露・種花事業・マリンバコンサート他
・小学校…授業参観・教育懇談会・研究授業への参加・体育学習発表会の取り組みの見学わいわいまつりへの参加・幼保こ小交流会
・中学校…職場体験学習
・諸団体…南警察（交通安全大会・交通安全指導７月・２月）、中央消防署（避難訓練指導）島之内図書館（図書配本・地域散歩）

長堀にじいろ保育園（ウォーターパーク・人形劇・作品展参観）との交流を行った。

保育園との交流では小学校就学後つながっていく活動であると感じる。また、地域の方から収穫物持参後や運動会後、絵手紙をいただき、地域の方に、より親しみを深める姿が見られる。教職員も、本園が地域の方から支えていただいている、大切にしてくださっていることを改めて感じる機会となり日々の保育の励みとなった。

【その他】

・未就園児活動（園庭開放）「すくすくくらぶ」を月２回実施している。未就園児の子どもたちや保護者に、幼稚園での活動を一緒に参加していただくことで、幼稚園教育の発信に努めている。
・未就園児活動（園庭開放）やコンサートなどのポスターを地域に貼っていただき、地域の方の幼稚園への関心をもっていただく機会になっている。また、園長や教職員が地域

にポスターをお願いすることで、幼稚園と地域の距離を近づけることにもなり、地域に根差した幼稚園になってきている。
・月１回発行している「園長室だより」や、担任が作成している「ドキュメンテーション」を地域に配布し、幼稚園教育の発信に努めている。個人情報の観点もあり、プール遊びなどは発信できないこともあるが、運動会への取り組みも、来賓の方々に発信することができた。
・運動会、作品展、コンサート、雪遊びでは、未就園児の方々に来ていただき幼稚園行事に参加する機会をつくっている。

次年度への改善点

・行事が重なると、ホームページの更新頻度が減る傾向にあるので、教員同士が連携を取り、伝えたいことや教育内容の発信を途切れないようにしていきたい。
・次年度も、交流や地域連携を通し幼児の生活や遊びがより豊かになるように事後の活動を工夫していきたい。

（様式３）

令和７年度　　学校関係者評価報告書

大阪市立桃園幼稚園　学校協議会

１　総括についての評価

自己評価は、妥当である。
・今の実情に合わせ、新たな交流内容や交流のもち方を考えて取り組み、地域、小・中学校、諸団体との交流の充実を図り、様々な教育活動を十分に展開していることが感じられる。

２　年度目標（全市共通・学校園）ごとの評価

年度目標
○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、幼稚園に安心して通園している」の項目で、「そう思う」と回答する割合を９０％以上にする。

自己評価は、妥当である。
・安全教育を実施したことで、幼児自ら安全意識をもって過ごそうとする姿も見られる。こどもパークや保健室前の環境を見直したことで、異年齢のかかわりや遊びが広がり、安心感をもって過ごすことにつながった。

年度目標
○令和７年度の保護者アンケートの「子どもは、体を動かすことを楽しいと感じている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。
○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、健康に関する指導をしている」の項目で、「そう思う」と回答する割合を８０％以上にする。

自己評価は、妥当である。
・広い園庭を生かし、いろいろな遊びや思い切り体を動かす活動を工夫した。
・保育参加では、保護者にも一緒に経験してもらう機会をもち、保育内容の発信へ役立てた。
・保健だよりや保護者会、作品展など機会をとらえて、保健指導の内容を知らせるようにした。

年度目標
○令和７年度の保護者アンケートの「幼稚園は、家庭・地域等との連携に取り組んでいる」の項目で、「そう思う」と回答する割合を７０％以上にする。

評価は、妥当である。
・ホームページの内容を見直し充実させた。教員全員がホームページに関する知識を深め、それぞれの視点で発信したことで、園内外に向けて教育内容の発信を細やかに行うことができた。
・地域、小・中学校、諸団体、保育園と連携を取りながら、新たな交流内容や交流のもち方を考えて取り組み、教育内容の充実を図ることができた。
・継続した交流では、地域の方からも、「子どもたちの成長を感じる」と温かい言葉を頂き、保護者・地域と共に子どもの成長を喜ぶことにつながった。

３　今後の学校園の運営についての意見

・教育内容の更なる発信を行い、未就園児活動や園児獲得へ向けて頑張ってほしい。
・小学校教育へのつながりを感じながら、幼稚園・小学校の情報交換や、教員間交流なども進めていきたい。